



幼児棟改築工事は、予定通り進んでいます。月2回建設関係担当者による定例会議を開き、工事に関わる確認や新たな課題に対する協議を行っています。1月末に仮設園舎が完成し、今月初めに消防、市役所建築課による検査が行われる予定です。既に保護者の皆様にお知らせした通り今月8日から11日の間に現幼児棟園舎から仮設園舎に引っ越し、12日から仮設園舎での通常保育を行う予定です。引っ越しに関係し、10日を自由保育とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、幼児棟が無事完成し、現在より快適な住空間になるように設計、工事を進めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力を改めてお願いします。

岩根保育園では、昔から子どもたちの遊びとして伝えられてきたコマ、剣玉、凧揚げなどの伝統あそびを意識的に取り入れています。どれもすぐ回せたり、入れたりできるものではありません。できるように練習や途中であきらめない根気が必要です。3歳以上のクラスから様子をお伝えします。

〈あお組の日記から〉

正月遊びのコマや剣玉を家庭から持ってきている。コマや剣玉は簡単にできると思っていた子が多かったが、いざやってみると難しいのが分かり、少し練習してできないとやめてしまう子もいる。剣玉は個人カードを作り、シールを貼っていくなどして意欲を持てるようにしてみた。園庭に出る時に年中児はコマをもって降りてくる。今日は心音の父親が保育参加に来ていた。心音の父親もコマをやったことがないというので、子どもたちと一緒に練習していた。何度も練習しているうちに心音の父親は回せるようになった。結愛が小さな声で「ひものまき方、教えて」と聞いてきた。ひものまき方を見せ「こうやって回すんだよ」と回し方を教えた。結愛は何も言わずに何度も練習をしていた。「なんとか回せるようになってほしい」という思いで「ひものは引っ張りながら巻くんだよ」と手を添えながら巻いていった。その様子を見ていた父親が「頑張ってるね」と声を掛けてくれた。結愛以外のコマを回していた子たちが他の遊びに行ってしまった。だが、結愛一人は最後まで練習をしていた。片付けの時間になったので、保育者が片づけ始めると、結愛が「最後1回…」と言ってコマを回した。今日一番の回り方であった。結愛は満面の笑みであった。

この場面では、子ども、保育者、保育参加の父親が登場します。初めてコマを見た時には誰もすぐに回せるだろうと思います。でも、実際に始めると、コツがいることに気づきます。コツをつかむためには練習が必要です。でも、練習しても回らないとあきらめてしまうこともあります。年中の女の子は「回したい」という思いから簡単にはあきらめません。保育参加の他児の父親にほめられ、保育者の回せるようになってほしいという思いに後押しされたように最後まで頑張りました。そして、今日一番上手にコマは回りました。女の子、そして保育者の嬉しそうな表情が目につくようです。女の子は「あきらめずに頑張ればできるようになるんだ」ということを学んだ場面であったと思います。練習を諦めてしまった子たちも保育者の働きかけで、達成感、諦めないことを学ぶ機会としてほしいと思います。

園長 平野弘和